

北海道爬虫両棲類研究会大会・記念講演会「北海道の爬虫類・両生類たち」

2012年2月に創立された、北海道爬虫両生類研究会では、12月8日および9日に一般聴講も可能な記念講演、ハープソン報告、研究発表会を行います。北海道ならではの両生類や爬虫類の様々なお話、現状などをお伝えする会となっております。第1回大会ということもあり、様々な方にお越しいただければ幸いと考えております。

12月8日の記念講演では北海道の両生類や爬虫類を研究されている東海大学生物学部生物学科の竹中践教授と、天理大学おやさと研究所の佐藤孝則教授にお話していただきます。あわせて同日に北海道で開催された道内爬虫類両生類一斉調査のハープソンについて当会会長の徳田龍弘が報告し、ハープソン内で行われた写真等について審査した野生動物写真家の中島宏章氏にトークしていただきます。

日時

2012年12月8日（土曜日）、2012年12月9日（日曜日）

場所

札幌コンベンションセンター104・105会議室（札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1）

12月8日（土） 開場:9:45 開演:10:00～16:20

10:00～10:05 開会のあいさつ

10:05～11:05 東海大学生物学部生物学科・竹中践教授 「爬虫類・両棲類の減少と保護の考え方」

11:15～12:15 天理大学おやさと研究所・佐藤孝則教授

「北海道に分布するサンショウウオ2種の生態と保全」

12:15～12:30 質問タイム

12:30～13:30 休憩

13:30～14:30 北海道爬虫両棲類研究会・会長 徳田龍弘 「ハープソン Hokkaido 2012 結果報告」

14:40～15:40 野生動物写真家・中島宏章氏 「爬虫類や両生類の写真、あれこれ(仮)」

15:40～15:55 質問タイム

15:55～16:15 表彰

16:15～16:20 総括

（司会：北海道爬虫両棲類研究会・副会長：照井滋晴）

12月9日（日）開場:9:45 開演:10:00～16:00

10:00～10:15 あいさつ・発表についての説明等

10:30～12:00 研究発表等（詳細は後日取りまとめ・WEBにて発表します）

12:00～13:30 休憩・ポスター発表回覧

（12:30～13:00 北海道爬虫両棲類研究会総会：研究会会員のみ）

13:30～16:00 研究発表等+座談会（ハープソンの今後など）（予定）

16:00～16:05 総括

申込み方法

予約はありませんので、ご自由にお越しください。

定員

100名

料金

12月8日は参加無料ですが、12月9日は参加費1名あたり500円を集めます。

【講師紹介】

竹中践氏（たけなか せん） 東海大学生物学部生物学科・教授

日本爬虫両棲類学会、日本生態学会所属。主にカナヘビを対象として、繁殖の特徴の地域差や、分類や進化についての研究を行う。ほか、エゾアカガエルの繁殖行動、北海道全体の両生爬虫類相の分析とその保護、また鳥類のムクドリのおぐらと食物探しの場所の関係などを研究する。環境省レッドリスト、北海道レッドデータブック作成に携わる。

佐藤孝則氏（さとう たかのり） 天理大学おやさと研究所・教授

1952年愛知県生まれ。奈良県環境審議会専門委員、奈良県希少野生動植物の保護のあり方に関する検討委員会、三重県特別天然記念物オオサンショウウオ保護連絡会議委員などを務める。北海道において精力的に両棲爬虫類の調査・研究に携わり、2012年12月に「新版 北海道のサンショウウオ」を出版（予定）。

徳田龍弘氏（とくだ たつひろ） 北海道爬虫両棲類研究会・会長

1975年札幌市生まれ。フォトグラファー、ライター。ヘビを中心に爬虫類、両生類、野生動物の写真を撮影する。野外での動物の観察がライフワーク。日本爬虫両棲類学会会員、日本自然科学写真協会会員、獣医師。北海道爬虫類・両生類ハンディ図鑑を2011年3月に出版。

中島宏章氏（なかじま ひろあき） 野生動物写真家

1976年北海道札幌市に生まれる。1998年民間の環境調査会社に勤めながら野生生物の知見を深める。2007年写真家を目指して独立。2010年20枚の組写真「BAT TRIP」で第3回田淵行男賞受賞。現在、コウモリのみならず底知れぬ自然の魅力を追い求めて北海道で取材を続けている。日本自然科学写真協会（SSP）会員、生物分類技能検定1級（鳥類専門分野）

問い合わせ先

〒061-2303 北海道札幌市南区定山溪温泉西 2-45-1-306 北海道爬虫両生類研究会事務局 徳田宛

syomu@koke-koke.com